



# 認定看護師だより

## COVID-19 流行期における発熱・呼吸器症状などを主訴とする症例の重症度

救急看護認定看護師 角 順子

一般社団法人 日本臨床救急医学会 / 一般社団法人 日本救急医学会  
2020年5月12日

重症度	発熱、咳、呼吸困難などの症状
重篤	顔色が明らかに悪い、唇が紫色になっている。(表情や概観等が) いつもと違う、様子がおかしい、息が荒くなった、急に息苦しくなった、日常生活で少し動いただけで息苦しい、胸の痛みがある、意識がおかしい、意識がない
重症	通常の日常生活動作に支障をきたしている 常に咳がひどい、または痰が多い、または発熱している または経験したことのないひどい全身倦怠感がある
中等症	日常生活動作は可能であり、かつ発熱および咳・感冒症状が常に持続している または全身倦怠感がある
軽症	日常生活動作は可能性あり、かつ発熱・咳・感冒症状は軽い または味覚障害がある、または鼻が詰まっていないのに嗅覚障害がある、または軽い全身倦怠感がある

フィジカルアセスメントで異常は察知できます！  
医療従事者としての意識を高く持ち、備えましょう！

摂食嚥下障害看護認定看護師 浦野 仁美 といいます。



2020年4月入職しました。現在、北2階 回復期リハビリ病棟で勤務しています。

前職では形成外科・血管外科、回復期リハ病棟に務めておりました。総合病院での勤務は初めてで幅広い疾患や治療について日々勉強し、様々な状況で「摂食嚥下障害」によりお困りの方へ認定看護師としてのお手伝いができたらと思っております。

相談例：嚥下スクリーニング評価、食事形態の調整、水分とろみ評価、摂食姿勢など ★摂食嚥下障害看護認定看護師 PHS 8670★へ  
お気軽にお声をかけてください

2020年5月より回復期リハビリテーション病棟ではMNA<sup>R</sup>評価を開始しました。

MNA<sup>R</sup>-SF (Mini Nutritional Assessment-ShortForm) は  
栄養スクリーニングの一つで、簡易栄養状態評価法といえます。

- ・食事が減少したか？
- ・体重の減少があるか？
- ・自力で歩けるか？
- ・精神的ストレスや急性疾患を経験したか？ などの



問診とBMI (体格指数) から評価をし、  
「低栄養」、「低栄養のおそれあり」、「栄養状態良好」の判定をします。  
★転入当初から患者さんの栄養状態をスタッフ間で共有し、回復への支援とともに、そのエネルギーとなる栄養状態を確認しながら医師、管理栄養士、リハスタッフ、看護師など多職種で低栄養への介入を行っています。